

岐阜市行財政改革大綱 2020 概要版

大綱 2020のポイント

<これまでの行財政改革の視点>

- 健全な財政運営の推進
- 自主財源の確保
- 効率的な行政経営の推進
- 全事務事業の見直し
- 民間活力の活用
- 市民満足度の高い行政
- 市民参画と協働の推進
- 職員の能力開発と人事管理

<新たな視点>

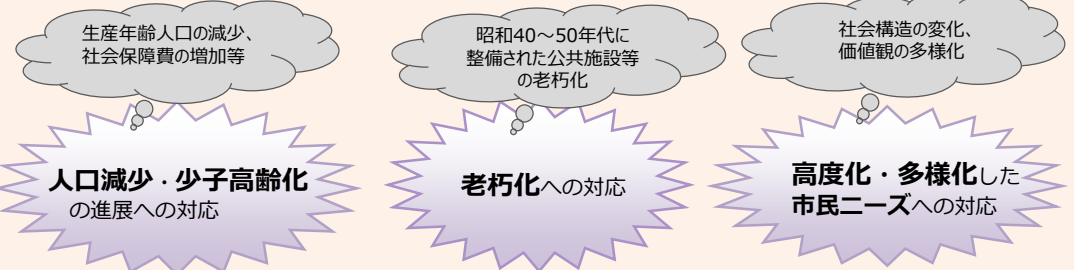
- デジタル技術（AI、RPAなど）の活用
→ 生産性向上、ヒューマンエラー防止
将来の職員の人材不足への備え
- 組織マネジメントの強化
→ 高度化・多様化する市民ニーズへの対応
働き甲斐のある職場づくり
内部統制の確立
- 公共施設等マネジメントの推進
→ 計画的な維持・更新、
最適な配置の実現

市民ニーズにスピード感を持って対応
※プラン内容の適宜見直し 等

岐阜市の行財政改革のイメージ

岐阜市行財政改革大綱2020 計画期間：R2年度～

環境と課題



対策

効率化を図る「量」の改革

市民満足度の向上を図る「質」の改革

行財政改革

基本目標

持続可能な都市「ぎふ」を支える行財政改革の推進
～改革の成果を未来（あす）へ～

4つの基本方針（改革を支える仕組み）

（1）
健全な財政
運営の推進

（2）
効率的・効果的な
行政経営の
推進

（3）
「オール岐阜」
のまちづくり
～市民参画と
協働の推進～

（4）
組織マネジメント
の強化

◆施策事業評価

◆重点取組事項
◆目指す姿

大綱に基づく実施計画（行財政改革プラン）

基本方針

（1） 健全な財政 運営の推進

①財政規律の堅持

将来にわたり持続可能で強固な財政基盤を確立するため、**財政規律を堅持**するとともに、公共施設等の老朽化対策など**将来の財政需要を見据え**ながら、収支のバランスを考慮した**計画的な財政運営**を推進します。

②自主財源の確保

企業誘致活動の推進など**税収獲得**につながる**施策**を推進します。また、**税負担の公平性を確保**するため、収納率の向上に努めるとともに、行政サービスに対する**受益者負担の公平性を確保**します。

③公営企業の経営健全化の推進

公営企業(病院事業・上下水道事業・中央卸売市場事業)においては、各種計画や経営展望に基づき、**事業管理者等**により適切に**行財政改革を実施し、経営健全化**を推進します。

（2） 効率的・ 効果的な 行政経営の 推進

① 民間活力の活用

行政サービスを向上させるため、「**民間にできることは民間に任せる**」という役割分担の考え方に基づき、民間活力の導入（PPP/PFI）や適切なアウトソーシングの推進など**民間活力を活用**します。

② 費用対効果等を踏まえた事業等の見直し

全事務事業に対し、**費用対効果**等を踏まえた**見直し**を実施するとともに、あわせて、福祉や教育をはじめとした**全ての施策**において、**市が関与する必要性**を視野に**点検**を実施します。

③ 公共施設等マネジメントの推進

行政サービスを持続的に提供するためには、**公共施設等**の**計画的な維持・更新**や**最適な配置**等を実現することが必要となるため、公共施設等マネジメントを推進します。

④ デジタル技術の活用による事務事業の適正化・効率化

事務事業の**生産性向上・適正化**を図ることで、将来の人口減少により見込まれる**職員の人材不足**に対応し、ヒューマンエラーを防止するため、**AIやRPAなどのデジタル技術**を積極的に**活用**します。

⑤ 広域連携の推進

行政サービスの向上や住民生活の安定と充実を図るため、広域の視点に立って、様々な分野で**周辺市町等との連携**を推進します。

（3） 「オール岐阜」 のまちづくり ～市民参画と 協働の推進～

① 対話により市民の思いを市政に反映

高度化・多様化する市民ニーズに対応するため、市政に対する**市民の意見や要望**の的確な**把握**に努めるとともに、**市民が積極的に市政に参画**できる仕組みを構築するなど、市民との**対話の窓口を広げます**。

② 市民と行政のパートナーシップの確立

「行政に委ねられた公共」からの転換を一層推し進め、「適切な役割分担のもとに協力する『**みんなで担う公共**』」を構築するため、「市民がまちづくりの主権者」という住民自治の原点に立って、**個人や団体**(自治会、まちづくり協議会、NPO法人等)、**民間企業等**との**協働を推進**します。

③ 市民に分かりやすい情報の提供

高度化・多様化する市民ニーズに対応するため、**適切な情報提供**を行うなど「市民に開かれた信頼される行政運営」を推進します。

（4） 組織マネジメント の強化

① 働き甲斐のある職場づくり

職員一人ひとりの**政策形成能力の向上**、**チャレンジ精神の醸成**、**モチベーションの向上**を図るとともに、組織風土改革を進めることで、**行政のパフォーマンスを最大化**します。

② 効率的な組織体制の確立

高度化・多様化する市民ニーズに対応するため、新たな行政課題を的確に捉え、**柔軟かつ効率的**に対応できる**組織体制を整備**します。

③ 職員定数・給与の適正化

職員定数の適正化を図るため、計画的に個々の**業務量に見合った職員配置**を推進します。また、国や民間の給与水準等を注視しながら、**能力や業務実績を重視した給与体系**に向け、必要な**見直し**を実施します。

④ 内部統制の整備・運用

適正な業務の執行を確保するため、**職員の意識改革**や**事務取扱マニュアルの点検・整備**に継続的に取り組むなど、**職員の不祥事や不適切な事務処理などを未然に防止**する**体制を整備し、運用**します。